



本学の構内周回道路の東側には、道の両側に桜並木が植えられており、サクラ通りと呼ばれています。開学当初に構内整備として植えられた幼樹も、開学35年の今年は最も樹勢の盛んな壮年の並木に成長し、道の両側から伸びた枝が互いに重なり、見事な花のアーチを作っています。この素晴らしい満開の桜を本学の学生、教職員だけで楽しむのではあまりにもったいないので、昨年度から春の花盛りの週末に、地域の皆様や新入生のご家族にも楽しんでいただけるよう桜並木を解放する、桜散策祭を開催しています。

今年の第2回桜散策祭は、4月の16、17日と23、24日の土日进行を予定しています。特別な催しを行うわけではありませんが、福利棟の

食堂ではお花見弁当も用意しますので、長岡の桜の新名所として、花吹雪の中でただ春のひとつ時を過ごすことを楽しみに、お問い合わせの上お気軽にお越しください。オープンキャンパス、技大祭と並んで、この桜散策祭も一般の方々に本学を訪れていただく機会として大切に、長岡に長岡技術科学大学があることを喜んでもらい、本学に親しみを感じていただけるようになればと期待しています。また、23日(土)にはテクノミュージアムの企画展が同時開催の予定です。

昨年には新たに、深才下宿貸間組合より60本のしだれ桜を寄贈いただき、大学のエントランス道路沿いを中心に植えられました。まだ幹も細い5歳樹ですが、このしだれ桜が

立派な成木となる頃には、さらに見事な桜に包まれたキャンパスを見ていただけたと思います。その時まで毎年春に、桜の成長を楽しみに本学を訪れていただければ幸いです。



昨年度お花見弁当

技大桜散策祭に関する詳しい情報は、長岡技術科学大学ホームページ

<http://www.nagaokaut.ac.jp/>
をご覧ください。

編集後記

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。この入学号は、新入生の皆さんに向けて、諸先生方や先輩方からのメッセージを特集しています。本学での歩みへの励ましです。

この冬は久しぶりに雪の多い年でした。雪解けも遅く、恐らく未だ足元に雪を見るかもしれません。しかし、このような年の春は特に美しい。これから過ごす本学での大学生活への賛歌と受け止めていただきたい。いつでも新鮮な顔触れを受け入れる季節は楽しいものです。

VOSの由来 本学のモットーである、Vitality,Originality,Servicesの頭文字をとって、本学初代学長の故川上正光氏により名付けられました。



VOS NO.163 [平成23年4月号]
編集発行 長岡技術科学大学広報委員会[総務部 総務課]
◎本誌に対するご意見等は下記までお寄せ下さい。
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
TEL. 0258-47-9209 FAX. 0258-47-9000
E-mail : skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp URL : <http://www.nagaokaut.ac.jp/>

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VOS

2011
April

NO.163

Nagaoka University of Technology



長岡技術科学大学 広報



NO.163
2011.April



特集

新入生歓迎!!

contents

02_ 学長告辞

04_ 副学長・各課程主任からのメッセージ

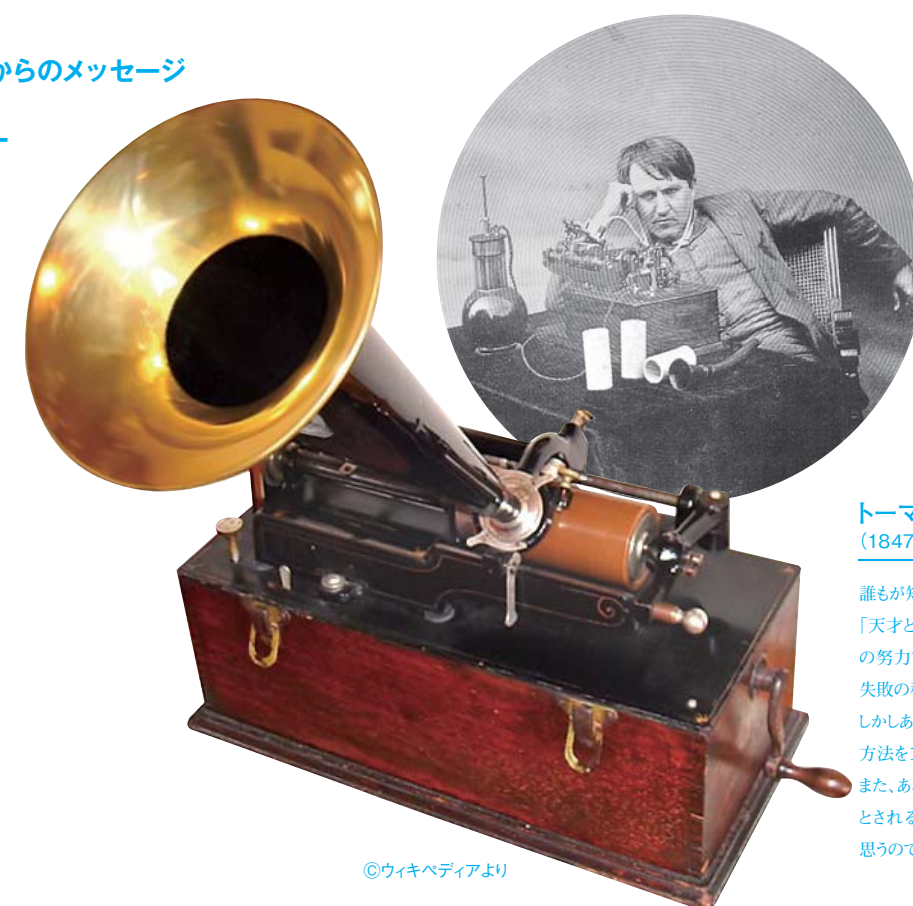
08_ キャンパスダイアリー
／キャンパスマップ

10_ 先輩より新入生への
メッセージ

14_ ギダイみてある記

15_ 就職コーナー

16_ 技大桜散策祭
／編集後記



©ウィキペディアより

トーマス・エジソン
(1847~1931) Thomas Alva Edison

誰もが知る発明王エジソンの有名な金言に「天才とは1パーセントの閃きと、99パーセントの努力である」と言うものがある。努力とは、失敗の積み重ねだ。しかしあなたは失敗とは言っていない。ダメな方法を1万回見つけたただけだ…。私たちがまた、あなたの志に強く共鳴し、社会に必要なとされるものの創造に、トライし続けたいと思うのです。

未来社会の入口は長岡にあり!

学長告辞



》長岡技術科学大学長



新原 皓一

KOICHI NIIHARA

世界に翔く指導的技術者を 目指して下さい!

新入生の諸君、入学おめでとうございます。本日をもって諸君は長岡技術科学大学の一員となりました。教職員を代表して心よりお祝いを申し上げます。留学生の諸君、母国と異なる環境での生活、厳しい勉学と研究が続くと思いますが、本学の諸君への熱い支援を信じ、安心して頑張ってください。

最初に、3月11日に東北地方を震源地とした一連の地震の犠牲になられた多くの方々のご冥福をお祈りし、また甚大な災害に遭われました方々に心よりお見舞いを申し上げます。本学の位置する中越地区、この長岡でも二度の大きな震災を受けましたが、今回の地震は我々の想定を大きく超え、想像を絶するものでした。平穏に暮らしていた人達が、一瞬にして大事な家族、住み慣れた家屋を失うなど、この地震により受けた影響は甚大で、また被災地において、不安で不自由な暮らしを余儀なくされている多くの方々のことを考えると胸が張り裂ける想いです。

これ以上、被害が拡大しないことをお祈りするばかりですが、少しでも被災した皆様のお役に立てることがあれば、私達の経験を生かし大学をあげて支援をしていきたいと考えております。一日も早い復興を皆で願っております。

長岡は、ここにきてようやく暖かい日差しが降り注ぐ時期となりました。厳しい冬を乗り越えた分、春の日差しは格別です。昨年のことになりますが、学生用の下宿やアパートを経営されている、近隣の下宿貸間組合の方々から、枝垂れ桜の苗木が約60本寄贈されました。これは留学生の諸君に日本の美しい桜を知ってもらうことと、本学が桜の名所になってもらいたいとの想いを受けています。この苗木は本学の入口や寄宿舍付近に植栽されています。私も組合長と記念植樹をさせていただきましたが、この桜が大きくなり、見事に咲く日を今から楽しみにしています。長岡市内には、悠久山公園を始め桜の名所が幾つかありますが、30年以上経過している本学の桜も立派です。昨年は、事務局棟から学生食堂に至る桜並木を週末に歩行者専用として「技大桜散策祭」を行い、多くの市民の方々に桜の花をご堪能いただきました。本年も今月下旬に企画しますので、楽しみにしてください。

本学は「技術科学」すなわち“技学”の創出とそれを担う創造的・実践的な技術者の養成を行い、またこれらを通じて社会との連携を図ることを基本理念とし、昭和51年に開学しました。この間約2万人余りの卒業生・修了生を輩出していますが、そのほとんどが全国の高等専門学校(高専)ならびに工業高校からの進学者であり、明確な指向性を持った大学でもあります。諸君もそうであるように、本学に入学してくる学生は、中学校を卒業する時点で技術科学、即ち“技学”の世界で生きるという明確な目的意識を持ち、切磋琢磨して“ものづくり”の感性を体に染み込ませて入学してきます。本学は、諸君のような技学の感性に優れた学生をシームレスに教育することによって戦略的に技学のトップランナーを輩出するという、世界に類を見ない我が国独自の一貫教育システムに基づき、他大学の通常の教育システムでは出来ない先取性の高い教育プログラムを実践しながら、世界レベルの卓越した研究成果を発信し続けています。これらは世界の高等教育研究機関の規範になるもので、様々な機関並びに産業界から高い評価を得ています。諸君が、プライドを持って他大学に無い本学の特徴ある教育研究プログラムを享受し、自分の可能性を信じ、多岐にわたる未知の分野に勇気を持って積極的にチャレンジし、自分の限界を突破し、未来への夢を育むことを期待します。

ご存じのとおり本学では、大学院に進学する学部4年生全員を、4ヶ月から5ヶ月間の長期にわたり著名な国内外の研究機関や企業等に派遣する、実務訓練(長期インターンシップ)を開学当初から実行しています。このような長期に渡る実習は他大学にはありません。先生方の尽力により、海外にも多くの訓練先が開拓されており、昨年は15%以上の学生が海外で実務訓練を受けています。また、本学は300名以上の留学生を受け入れています。その数は全学生数の約13%以上で、他大学の5%前後の比率に比べると非常に高く、本学では大学に居ながらにして国際交流ができます。このような特徴を生かし、日本人学生諸君が留学生と積極的に交流すること、また、海外実務訓練で長期に滞在することなどを通じ、グローバル社会に対応していくための基礎作りをしてもらいたいと思います。

また、本学は全国立大学の中で毎年1位か2位の就職率を維持しています。この高い就職率を維持している理由は、本学の特徴ある前述の教育プログラム、「中学卒業から“ものづくりDNA”を育んだ学生を受け入れ、大学院までの一貫教育によって“技術科学(技学)”を担う実践的でグローバルに活躍できる指導的技術者を育成するプログラム」と「国内外の研究機関や企業に長期に学生を派遣する実務訓練プログラム」に主に起因していると考えられ、社会から受ける本学の評価の高さを証明しています。

私どもは、常に世界の動向、また、社会経済情勢を意識しながら、本学の10年から30年先を見据えた事業の展開を行う必要があります。このため、現状に満足することなく常に未来を見ながら改革を目指し新たな展開を図っていかなくてはなりません。このため、学内に総合戦略室を設置し、本学の将来戦略、連携戦略、情報化戦略、国際戦略、教育戦略、広報戦略の分野に分かれて議論を重ね、この3月末に中長期の方向性を決めました。今後はこの戦略に沿って実行する具体案を詰めていく予定です。その中には、諸君が在学中に動き始めるものも有りますのでご期待下さい。

本学には、初代学長の川上先生が提唱された「V・O・S」と言う言葉があります。V: Vitality(活力)、O: Originality(独創力)、S: Services(世のための奉仕)。そして、ここ長岡には「義と愛」の優しさ、二度の大きな地震にもめげない逞しい精神力が浸透しています。諸君は、この長岡の人々にも支援され楽しい学生生活を送ることになりますが、中には今日から始まる新しい生活に不安を抱く人がいるかも知れません。私ども教職員は、諸君の生活、勉学、研究に最大限の支援をします。しかしながら、諸君は単に大学からの支援を待つだけではいけません。自ら考え行動をすることが、多くの人々を助け、多くの人々を豊かにし、また、自分の更なる成長に繋がると心得てください。新しい友とのキャンパスライフ、そして、ご家族から離れての長岡での生活が、充実した日々となることを祈念して、祝辞とします。

新入生歓迎!! 副学長・各課程主任からのメッセージ

副学長



副学長(教務、組織担当)

中村 和男

KAZUO NAKAMURA

雪解けを感じつつ— 新入生のみなさまへ

春を迎え、越後の山々からの雪解けの水が平地に潤いを与え始めています。新入生のみなさま、そしてご家族のみなさまにはお慶びを申し上げます。

本学のある長岡は豪雪で知られる中越地域の中核都市であり、人々の暮らしは歴史的にも雪との闘いであるとともに、雪を生かした生業に支えられてきました。

世界屈指の豪雪地魚沼地方では、山々から流れ込むミネラル豊富な雪解け水がおいしいお米を育みます。冬季に作られた搾りたての生酒は「雪中貯蔵」で熟成されまろやかな味わいを作り出し、越後縮は雪さらしという工程が独特の品質を産み出してきました。本学の先生方も雪氷被害の克服はもちろん、その冷熱の空調への活用や南極大陸の氷床等を利用したCO₂固定化などにも積極的に取り組まれています。

雪国に暮らしてみると、「雪」を五感で感じるこ

ができます。越後の名峰、八海山麓に美術館を開いた富岡惣一郎氏は「白の不思議な美の世界」を表現するために「トミオカホワイト」という絵の具を編み出しました。降り積もった雪世界の静寂感、雪の降り始め直前の張りつめた空気の嗅覚への刺激感、そしてそうした空気の肌触り、サラサラ、サクサク、そしてベタベタの手触り感がもたらされます。

長岡における新たな暮らし、新たな学び、新たな触れ合いの中で、真っ白な雪に、それぞれの美の世界を見つけ出し、身につけた感性で、新たな技術者のパレットに個性ある絵の具を作り出し、将来の社会での活躍の基盤づくりをしてもらえればと願っています。



トミオカホワイト美術館から望む八海山



専用タイルを敷き詰めるだけの路面融雪技術(上村准教授)

機械創造工学課程主任



機械系 教授

鎌土 重晴

SHIGEHARU KAMADO

—自らを律する心を持って—

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。機械系の教職員一同心から歓迎します。これから始まる新しい環境での生活に大いなる期待とともに、若干の不安も抱かれていますと思います。早く新しい生活になれ、学生生活を十分に満喫してください。

機械創造工学課程では、技術・社会の発展に対応すべく、カリキュラムを再構築し、環境・安全に配慮した実践的な技術者養成を目指しています。さらにはグローバル化にも対応すべく、多くの留学生を受け入れるとともに、実務訓練等を通じて、海外研究機関・企業への派遣も試みています。あなたたちの心がけ次第で、多種多様な経験をできるように、教育体制を整えています。個人により抱いている目指す方向は異なると思いますが、将来を見据えた志を立て、それを具現

化するためのノウハウを学生時代に獲得してほしいと思います。大学は高校、高専とは異なり、自己研鑽の場です。当然、自由に活用できる時間が多くなりますが、それらの時間を有効活用できるように自らを律する生活習慣を必ず構築してください。実践的技術者を目指す皆さんには勉学のみならず、体力・気力も必要です。長岡には山あり海あり、四季折々の風情を堪能することも可能です。特に冬はスキーが身近でできますので、友達と出かけ、リフレッシュすることもいいと思います。何か困ったことや悩みが生じたときには、身近な友人とともに学年担当教員やサポーター教員にも相談してみてください。

これから皆さんが自分の抱く志に向けて精力的に取り組む、充実した学生生活を過ごされるように期待します。

電気電子情報工学課程主任



電気系 教授

江 偉華

WEIHUA JIANG

充実した在学期間を

ご入学おめでとうございます。電気電子情報工学課程教職員を代表して、新入生の皆さんを心から歓迎いたします。

電気電子情報工学課程では、皆さんのために基礎学習から実践トレーニングまでの教育カリキュラムを編成しています。皆さんが将来21世紀の主役としてエネルギー、材料および情報通信分野で活躍できるように最大限にサポートします。皆さんは夢と抱負を持って、これから充実した在学期間を過ごしましょう。

知識を学ぶために大学に来ていますが、実際学ぶのは決して専門知識だけではありません。技術者としての資質は、多方面の要素から成り立っています。高度技術者を目指す皆さんは、在学期間を通じて、専門知識を身に

付けると同時に、指導力、協調性、コミュニケーション能力を養う必要があります。皆さんの将来にとってこれからの在学期間は極めて貴重なものなので、有効に利用しましょう。

皆さんの学業は新たな段階に入っています。大学という新しい環境の中で、自分に対して高い目標を設定し、それを目指して今日から努力を始めましょう。

材料開発工学課程主任



物質・材料系 教授

小林 高臣

TAKAOMI KOBAYASHI

無限の可能性にチャレンジ

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは今、胸いっぱいの希望を持って大学生として、新しく歩みだしたところです。本学の新しい環境での出発は、顔も名前も知らない人たちとの出会いや、長岡という初めての土地での生活から始まり、期待と不安が入り交じったスタートでしょう。しかし、それは、新しい成長の糧となるプラットホームからの出発です。初めは少し照れくさいという思いを持つでしょうが、志を同じにする、共に学びあえる仲間や、頼れる先生方や先輩方がいることを忘れないでください。そんな心強い味方がいれば、どんな辛いことも苦しいことも、新たな期待と希望に変わり、きっと乗り越え、大きく羽ばたくことができると信じています。

また大学は、自分で決めた将来のための準備

備の場であり、それを達成する場であることを忘れてはいけません。皆さんはこれから、物質と材料を学ぶことになります。全てがまず手探りから始まることになるかもしれませんが、あわてず、ゆっくり、無限の可能性という高い峰を目指して、チャレンジしてください。気持ちを広く、高遠な目標を持てたとき、当たり前に見えることが、実は、色んな基礎事象に裏付けられ、多くの人の手間を経た、叡智の積み重ねである事に、皆さんは気づくはずです。これから卒業、修了までの学生生活の間、どれほど自分に興味が、将来に意味のある問いを見つけるか、そのような発見を手助けすることが、私たちの課題でもあり、楽しみです。おいに力をつけて、自分の可能性を広げてください。

新入生歓迎!! 副学長・各課程主任からのメッセージ

建設工学課程主任



環境・建設系 教授

細山田 得三

TOKUZO HOSOYAMADA

ごまかさず考え抜く力を 一統編一

長岡技術科学大学に進学された新入生の皆さんに、建設工学課程を担当する教員を代表して祝意を申し上げたいと思います。おめでとうございます。この言葉はまだあまり大きな声で申し上げるつもりはありません。教員がこの言葉を衷心(ちゅうしん)から申し上げるのはやはり皆さんがこの学舎を巣立つときでありましょう。

私事で恐縮ですが、ここに文章を上げるのは昨年に続いて2回目です。昨年は“ごまかさず考え抜く力”という題でした。私は常にこのことを強く訴えたいと思っているので同じことを書いています。“考える”という行為は言わば脳の筋トレです。手を抜くせがあるとすぐに退化します。私たちは“とりあえず無難”と思われることを十分考えることなく行為

します。そうしないと社会を営むことができない場合もあります。しかし大学は考える行為をどこまでも追求していく最後の砦です。私は皆さんがこの大学の学生でいる間どうか考え続けてほしいと思います。異論がある学生さんはいつでも私の居室に来室してください。大いに歓迎します。そして皆さんがこの学舎をめたく巣立つそのときにあらためて“おめでとう”という言葉をかけたいと思います。頑張ってください。

生物機能工学課程主任



生物系 教授

滝本 浩一

KOICHI TAKIMOTO

リラックスした真剣さと執着心

海外の学生には、緊張感・危機感があります。講義でも実験でも、必死にくらいついてきます。もちろん、出来ないと落とされるという外圧によるところも大きいものだけれど、日本の大学生と違う真剣さがあります。同時に、何をやりたいかはっきりしないので、1年間ボランティアをしてみるとか、しばらく海外で過ごしてみるとか、ミュージックのクラスを取るなど、リラックスした考え方をします。それに対し、日本では大学受験・就職活動と決まった年齢で決まった活動をしないと取り残されるという異様な切迫感があります。

言いたいのは、海外の大学の方が良いとか、留年を薦めるとかではありません(もちろん、形式的な大学卒業・修士修了がまかり通る日本の方が良いはずはないのだが)。何を

言いたいのかというと、人生にはリラックスした真剣さ、そして一端始めたらそれを継続・修正していくリラックスした執着心が必要ということです。大学に入ったばかりの君たちには、分かり難い話かもしれませんが。これから先、多くの問題に直面し、時に挫折を味わうことになるでしょう。そんな時、リラックスした真剣さと執着心を持って立ち向かってほしいと願っています。

環境システム工学課程主任



環境・建設系 教授

解良 芳夫

YOSHIO KERA

新入生の皆さんへ

ご入学おめでとうございます。現在、地球温暖化、気候変動、生物多様性の喪失、感染症の爆発的増加、エネルギー資源不足、穀物生産減少など地球規模の様々な環境・エネルギー問題がおきています。国レベルあるいは地域レベルでも多くの環境問題に囲まれて私たちは生活しています。環境システム工学課程では、自然環境と技術を調和させることを目的とし、様々な環境・エネルギー問題に対して従来の学問分野を越えた学際的な対処ができる実践力を身に付けた環境技術者の育成を目指しています。

大学では、自ら考え、学び、行動することが大前提です。待っていても誰も教えてくれません。従って、意欲と目的をもって、知識や技術を積極的に吸収しなければなりません。それ

と同時に、得意な分野・技術を発展させながら、新たなことへチャレンジする事も更なる飛躍のためには必要です。また、大学時代には、将来にわたり信頼でき理解し合える友人を得やすいものです。そのため、学内や学外の人々との交流を通して、人間的な成長を図る事も重要です。

最後に、皆さんが様々なストレスに負けず、心身ともに健やかに学生生活を送り、本学を無事巣立って行くことを心から願っています。

経営情報システム工学課程主任



経営情報系 教授

李志東

LI ZHIDONG

新入生への期待

ご入学、おめでとうございます。日本経済の長期低迷と就職難、地球温暖化と異常気象、原油価格の乱高下と稀少資源の枯渇、低炭素競争の激化……。我々はかつてない難局と課題に直面しています。しかし、立ち止まってはいただけません。新しい未来を切り開く千載一遇のチャンスとして捉えましょう。特に、明日を担う皆さんに大いに期待したいと思っています。

皆さんには、大局を読む「鷹の目」、時代の流れを読む「魚の目」、そして細部を読む「虫の目」、という三つの目を持ち、また責任感、実行力と協調性に富む人材に成長してほしい、と願っています。

経営情報システム工学課程には、ヒューマン情報学は勿論のこと、企業経営や自治体

運営、セキュリティ管理、教育と福祉、法制度と低炭素システムの設計など、持続可能な社会を構築・マネジメントする幅広いシステム工学の専門家が揃っています。お互いに刺激し合い、学際融合と連携を図りながら、教育・研究と実社会の課題解決に頑張っております。

大学の「大」という字は、分解すると「一人」になります。皆さんは「一人(大)学」という自立型社会に一步を踏み出しました。しかし、決して一人ぼっちではなく、仲間や先輩たちがいます。また、皆さんを全力でサポートするのは、我々の使命です。共に学び、共に成長していきましょう。

特集

新入生歓迎!! キャンパスダイアリー／キャンパスマップ

平成23年度 Campus Diary

第1学期(4月1日～8月31日)

- 春 期 休 業 4月1日金～4月4日月
- 入 学 式 4月5日火
- ガ イ ダ ン ス 4月2日土、4月4日月、
4月5日火、4月6日水
- 新入生合宿研修 4月7日水～4月8日金
- 授 業 開 始 【工学部及び工学研究科】4月11日月
【技術経営研究科】4月9日土
- 定期健康診断 5月11日水～5月13日金
- 春季球技大会 5月14日土
- オープンキャンパス 7月31日土
- 授 業 終 了 7月29日金
- 夏 期 休 業 8月6日土～8月31日水
- 長岡まつり民踊流し参加 8月1日月

第2学期(9月1日～12月31日)

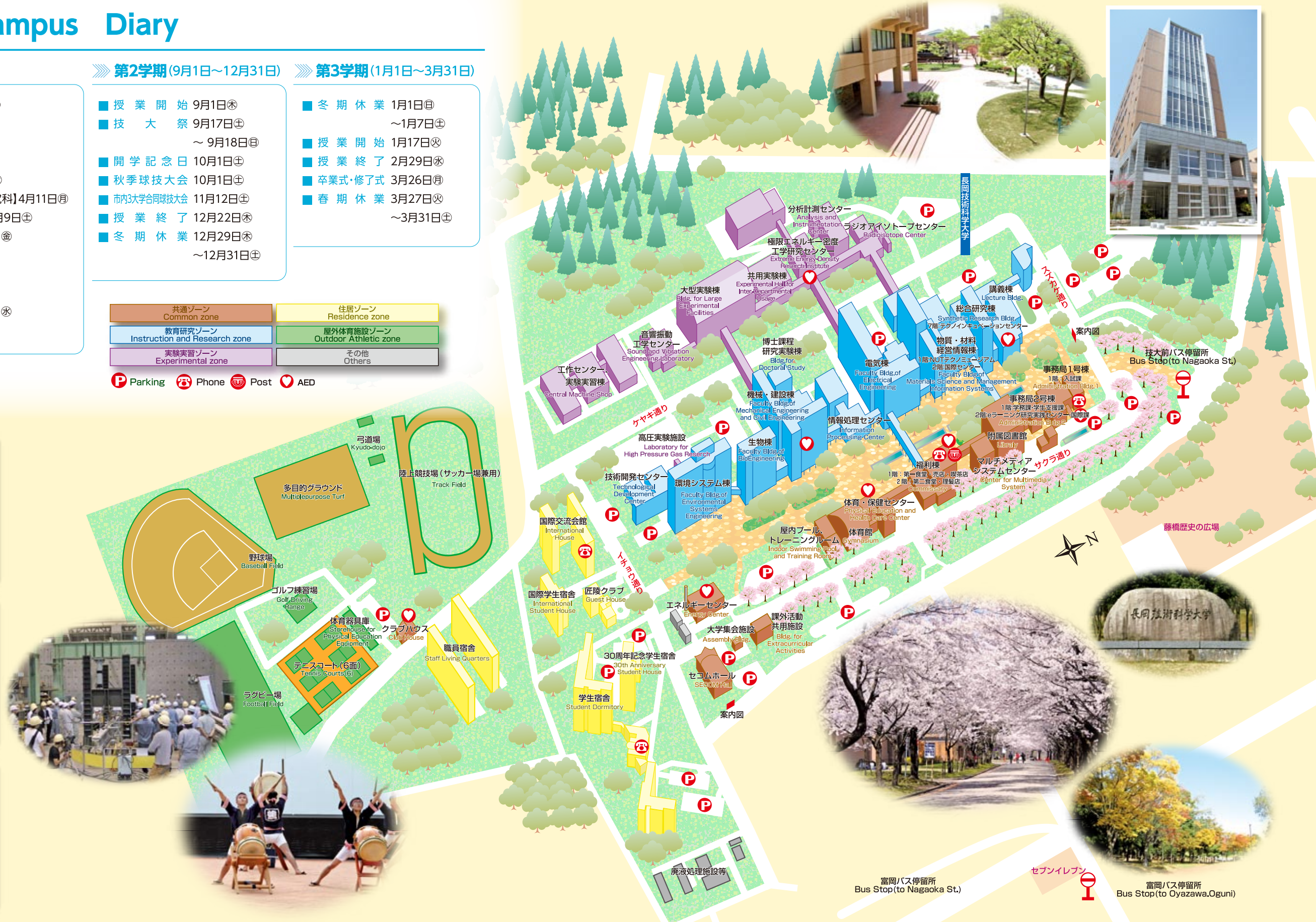
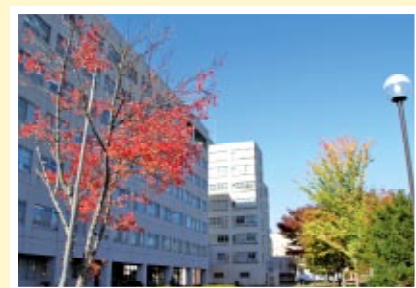
- 授 業 開 始 9月1日火
- 技 大 祭 9月17日土
～9月18日土
- 開 学 記 念 日 10月1日土
- 秋季球技大会 10月1日土
- 市内3大学合同球技大会 11月12日土
- 授 業 終 了 12月22日水
- 冬 期 休 業 12月29日水
～12月31日金

第3学期(1月1日～3月31日)

- 冬 期 休 業 1月1日土
～1月7日土
- 授 業 開 始 1月17日火
- 授 業 終 了 2月29日水
- 卒業式・修了式 3月26日土
- 春 期 休 業 3月27日火
～3月31日土

共通ゾーン Common zone	住居ゾーン Residence zone
教育研究ゾーン Instruction and Research zone	屋外体育施設ゾーン Outdoor Athletic zone
実験実習ゾーン Experimental zone	その他 Others

P Parking ☎ Phone 郵便 Post 心臓 AED



新入生歓迎!! 先輩より新入生へのメッセージ

機械創造工学専攻



機械創造工学専攻2年
(愛知県立新城東高等学校出身)

加藤 佑人
YUTO KATO

有意義な大学生活のために

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは全国各地から長岡技術科学大学に来られたことと思います。長岡の夏は暑く、冬は寒いというすばらしい(?)ところですよ。そんな中でも皆さんには有意義な大学生活を送ってほしいと思います。

大学の授業は幅広い分野の講義が用意されており、どの講義を受講するかも個人の判断に任されています(必修科目を除く)。自分の興味のある講義・先輩等からのお勧めの講義など、いろんなアンテナを張って情報を得るとよいでしょう。しかし、中には難しい講義もあります。そんな時、友達・仲間となら乗り越えられます。また、サポーター制度という、先輩が授業外の時間にサポートをしてくれる制度もあるので不安がある人は是非活用してみてください。実際私も学部2・3年生のころにお世話になりました。他には技大生は英語が苦手という傾向がありますが、工学部である以上英語論文を読む際に英語が必要にな

るので勉強をしておいて損はありません。

最後に大学生活では講義や研究以外にもサークルなど自分の可能性を広げる場がたくさんあるので興味があったら参加してみてください。それでは皆さんのより良い大学生活を期待しています。



研究室での花見大会

材料開発工学専攻



材料開発工学専攻2年
(中国鄭州大学出身)

王 勇
WANG YONG

Release your dream

First of all, I would like to say that welcome you all to Nagaoka University of Technology where you start study to create fruitful life. Maybe you concern your university life, but, please put your heart at ease. To support your university life as a "Senpai", I would like to give some advice to you.

I recommend you that you should make a plan for everything. I mean that you should have a specific purpose before you start a new challenge. You will have much free time to do what you want to in university. You can arrange your life freely for your interests or hobbies. For example, you can elect your favorite course, read many books, join a club, take on part-time job, and so on to broaden your vision and enrich your experiences. In a word, you should make the best of your university life to prepare for entering society.

Now, we are standing in the "Globalization". As you know, the language ability such as English is becoming more and more necessary to survive in the competitive society. It is a great pleasure for you to get a big chance to learn English, Spanish and Chinese and so on, because there are lots of international students in

Nagaoka University of Technology, and they are interest in Japanese culture. If you want to be a real international person, you should take the opportunity to communicate with them!! You should not miss this chance.

The other thing is that you should build a human network. You should not only study professional science knowledge, but also make good friends and good teachers. These will be your important wealth in your future. University life is very short, but you have to study everything to open your new windows. Please believe in yourself. I hope that you spend a wonderful university life. Good luck!!



研究室旅行

電気電子情報工学課程



電気電子情報工学課程4年
(釧路高専出身)

真鍋 大地
DAICHI MANABE

時間を上手に使うこと

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。さて、皆さんは今の時点でこれから大学生活をどう過ごしていこうか考えていますか。

勉強や研究、サークルや課外活動、アルバイト、そして趣味などと思いつくことはたくさんあると思いますが、時間の使い方はよく考えてください。勉強だけをしていれば良いというわけではなく、人との交流も大切にすべきです。先生方や先輩から学ぶことは多いと思います。同年代でも様々な地方から来ているので、当たり前だと思っていたことが実は違っていたりして驚かされることが多々あります。知らない土地で新しい学校に入学するわけですから不安なこともあると思いますが、少しずつでいいので自分の生活スタイルを確立していくことが大切です。

あと目標だけは何か1つでいいので立ててください。やはりモチベーションにつながりますし、そういったことが自分の可能性を広げていく第一歩になると思います。

短い大学生活における貴重な時間を上手に使い、視野を広げ、そして多くのことを経験し、自分の判断や行動が正しいものだったと胸を張れる生活をおくるよう心がければ、皆さんの大学生活は楽しく有意義なものになるでしょう。



友人と行った池の平温泉スキー場で

建設工学専攻



建設工学専攻2年
(函館高専出身)

畠田 聖史
TOSHIHITO SHIMADA

悔いの残らない学生生活を

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる新しい環境での生活に、多くの期待と不安を抱いていることでしょう。私も入学当初は右も左もわからず、全てが手探りの状態でした。そこで大事なのが、友人を持つことです。一人で悩んでいては何事も前に進みません。多くの友人を作り、情報を共有し合って協力すれば、どんな問題でも解決出来るはずです。また、技大には全国各地、海外から多くの学生が集まります。文化や習慣、価値観の違う人達と一緒に大学生活を送ることで、物事を考える視野を広げる事が出来ると思います。

大学は高校や高専と違って自由に使える時間が多いです。そして自分から行動しなければ何も始まりません。与えられるのを待っているだけでは駄目です。学業に限らず、アルバイト、サークル活動、資格の取得等に積極的に取り組んで、何かひとつ、大学生活でこれは頑張った!と言えるものを作ってください。大学

生活はあっという間に過ぎてしまいます。悔いを残さないよう、一日一日を大事に過ごしてください。



研究室旅行(白馬八方尾根スキー場にて)

新入生歓迎!! 先輩より新入生へのメッセージ

環境システム工学専攻



環境システム工学専攻2年
(苫小牧高専出身)

白戸 将吾
SHOGO SHIRATO

目標を持つこと

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新生活のスタートに当たり、期待と不安を抱いていることと思いますが、学生生活を有意義なものとするために少しアドバイスを送りたいと思います。

皆さんには、まず目標を持ってほしいと思います。講義でも部活でも、ただ漫然と受動的になっていては何も得られません。活動を通じて、自分は何を学びたいのか、何を達成したいのか、常に目標を掲げて行動することが自身の成長に繋がり、生活の質を高めます。しかし、大学は高校や高専と比較して選択の幅が格段に広いですから、まだ具体的な目標を設定できていない方も多いと思います。そういった方は新しいことにチャレンジして下さい。高専での専門とは異なる分野の講義を履修することや、これまでに経験のない部活やサークルに参加することで、新たな発見がありますし、自分の道が見えてくるはずです。

さて、堅苦しい話になりましたが、結局のと

ころ大学生活をどのように過ごすかは皆さん次第です。皆さんりのスタイルで有意義な時間を過ごしていただければ、それが一番だと思います。頑張ってください。



ソフトボール大会

経営情報システム工学専攻



材料開発工学専攻2年
(長岡高専出身)

善積 竜希
TATSUKI YOSIZUMI

新入生のみなさんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大きな目標を持って入学をした人も、まだやりたいことがはっきりと決まっていな人もいますが、皆さんの多くがこれから始まる新生活を楽しみに、また不安に感じているのではないのでしょうか。私自身、大きな期待と少しの不安をかかえて大学生活を始めたことを覚えています。

技大の特徴として、高専からの編入生が多いということが挙げられますが、高専出身の人は、5年間同じクラスで過ごした人がほとんどだと思います。是非たくさん友達をつくって、新鮮な空気に触れてください。

さて、大学での学習についてですが、高校や高専と比べて、講義内容が急に難しくなるということはありません。しかし、高校や高専よりも自分自身にかかる責任は大きくなります。例えば、どの授業を履修するのかを自分で決めなければなりません。また、講義室の変更や課題の情報などは、掲示板をみたりして自

分で確認をしなければなりません。

不安を煽るようなことを書きましたが、自己管理さえしっかりしていれば大丈夫です。短い大学生活ですので、勉強だけでなく、たくさん遊んで充実した大学生活を送ってください。



研究室旅行での一枚

生物機能工学課程



生物機能工学課程4年
(高知高専出身)

濱田 聖矢
SEIYA HAMADA

頼ることも大切

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

私が大学に入学した昨年の春から今までの1年間を振り返ってみると、自分が思っていた以上に時間が速く過ぎってしまったことに改めて気付かされ、少し怖い思いがしています。時間だけはすべての人に平等に与えられる、という言葉をとまに耳にしますが、それだけに無駄にしていまいがちなのではないのでしょうか。

さて、みなさんより1年だけ多くの時間を大学で過ごしてきた経験から、1つだけ伝えておきたいことがあります。これからの大学生活では、多くの問題が目の前に現われるでしょう。それは勉強や研究のことかもしれないですし、対人関係のことかもしれない。あるいはもっと複雑で、今まで経験したことのない類のことかもしれません。そういったことに、一人で立ち向かっていける力、というのは生きていく上できっと大切なものです。しかしそれ以上

に、遠慮せず周囲の人々に頼ってみるということも大切です。自分一人ではどうしようもないな、と感じたら一人で悩まずに友人や先輩方に相談してみてください。頼ってみて初めて生まれる関係も、きっとあるはずです。

不安にさせるようなことを書いてしまいましたが、もちろん大学生活では楽しいこともたくさんあります。楽しいときも、不安なときも、一瞬一瞬の時間を大切に過ごしてください。



研究室で恵方巻きづくり

システム安全専攻



システム安全専攻2年(社会人)
勤務先:新潟県立長岡工業高等学校

徳田 仁
HITOSHI TOKUDA

学べば学ぶほど...

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。期待と不安、そして様々な志を抱き、入学されたことと思います。たくさんの出会いを大切に、自らの志や目標の実現へ向け頑張ってください。と、多くの若い入学生生の皆さんへ向けてのメッセージは多くの先輩方から寄せられていると思いますので、ここでは、少数派であるシステム安全専攻へ社会人として入学された皆さんへのメッセージを私なりにお話したいと思います。

かつて過ごした学生時代とは違い、仕事と学生との二足の草鞋を履くというのは想像を絶する程、大変です!仕事を終え、本来ゆっくりと心身を癒すべき土日に講義が行われるのですから、当然といえば当然ですが...。そこで、簡単ではありますが、アドバイスを幾つかしたいと思います。まずは、何れともあれ、必須項目として職場や家族といった周囲の方達との円滑な人間関係を維持しておく必要があります。次に、より具体的な方策として、レポー

トをためない、e-ラーニングは先手必勝で少しずつでも進める、といったことが挙げられます。そして、このシステム安全では多くの収穫もあります。仕事も年齢も様々な方が学んでおられますので、先生方からは勿論、学生間においても多くのことが学べますし、また刺激的でもあります。

最後に、アインシュタインの言葉を記したいと思います。

「学べば学ぶほど、自分が何も知らなかった事に気づく、気づけば気づくほどまた学びたくなる。」



トヨタグローバル安全衛生教育センター前にて

ギダイみてある記 GIDAIMITEARUKI

✦ 長岡技大のオアシス



技大名物「油そば」



売店「萩野屋」



30周年記念学生宿舎

今回の「ギダイみてある記」では、私たち学生の生活に欠かせない福利施設について紹介します。中でも今回は筆者の独断と偏見で、学食と学生寮、そして売店（**ー押し!!**）について紹介します。

まず3つの食堂（1食、2食、ポπ：喫茶店）について紹介。私たちの研究室では、1食なら「油そば」、2食なら「チキン南蛮定食」、ポπならちょっと優雅に「コーヒー」（ただし筆者は行ったことがないですが・・・皆さんはぜひ）がおすすめです。とにかく、学食の売りである安くて、うまくて、ボリュームたっぷりです。中でも「油そば」は技大のみならず大人気なメ

ニューで、学外から来られる方も多く、長岡では有名です。ブログなどでも紹介されているので興味があればぜひ。

次に、私のような家なき大学生が住んでいる学生寮です。ここ長岡技大には2つの男子寮と女子寮、さらに留学生が生活する国際交流会館があります。今回は私が住んでいる30周年記念学生宿舎について紹介します。部屋は全室個室で、室内には学習机、椅子、ベッドが備えてあり、ユニットバス・トイレ、台所設備、冷蔵庫も備えています。ここは最近、改修がなされており、皆さんがご入学されるころにはもっと綺麗で、住みやすくなっているかもし

れません。

ラストに一押しの売店。ここ長岡技大には表の売店に対して、裏の売店と呼ばれる研究室独自の売店が存在しています。私たちの研究室では「萩野屋」と呼ばれる売店を営んでおり、私たち研究生のオアシスになっています。かくいう私もヘビーユーザーであり、月の利用額が1万円に届かんばかりの勢いです。それでも湧き出る泉のように常に品揃えが充実しているのがこの売店のスゴイところ。皆さんも機会があればぜひ、探してみてください。そして一緒にヘビーユーザーになりましょう。



機械創造工学専攻・修士2年
（津山工業高等専門学校出身）

井手 翔平
SHOHEI IDE

就職コーナー

本学の就職活動支援

世界的な金融危機以降の厳しい経済状況の影響により、大学生の就職内定率は、2010年3月卒は91.8%、特に2011年3月卒は国の調査開始以来、最低になることも予想されていますが、本学の就職率は、毎年95%以上であり、国立大学としては、常にトップレベルを維持しており、求人企業数も課程・専攻全体で2,000社を超えています。

学部卒業生及び修士課程修了生の就職先業種別では、「製造業」が最も多く6割、次いで、「情報通信業」が2割、以下「建設業」、「学術研究、専門・サービス業」となっています。

就職活動は、学部3年生、修士1年生の10月になると本格的な始動に入り、本学では、この就職活動をどのように始めればいいのか。どんな準備が必要なのか。そんな疑問を解決するために、安心して就職活動ができるよう、右記のとおり就職ガイダンス等を企画・開催しています。

また、右記の「1. キャリアガイダンス」は、新入生（学部1年生）のために、これからの学生生活において、将来の進路など、具体的な目標を見据えて主体的に何をすればいいのか、自ら考え、行動することの重要性について、合宿研修に併せて本年度から実施するものです。

さらに、各課程・専攻別に学生の就職指導を行う就職担当教員があり、就職支援室と協力・連携してきめ細かい就職支援を行っていますので、わからないこと、困ったことがありましたら、気軽にお立ち寄りください。

なお、今年度からは、新たにハローワークプラザ長岡のキャリアカウンセラーによる就職相談窓口を定期的に開設する予定です。



電気系教授
22年度電気系就職担当

小野 浩司
HIROSHI ONO

変化の時代だからこそ地道な基礎学力充実を

本学は、開学以来ほぼ100%の就職率を達成しており、近年の厳しい社会状況においても「就職に強い大学」であり続けています。しかしながら、社会の急激な変化がある中で、就職活動を取り巻く状況も激変してきています。例えば電気系では、電子素材・デバイス関連、産業ロボット、インフラ等川上産業の求人は従前通り維持されていますが、大手電機メーカー等川下産業からの求人が伸び悩んでいます。またその一方で、従来の電気系分野では少なかった、ゼネコン、自動車などからの求人が堅調に増加してきています。これらは、日本の産業構造が川上の産業への転換がなされてきたこと、あらゆる場面でのエレクトロニクス化がますます必須となっ

平成23年度 就職ガイダンス・セミナーの開催予定は以下のとおりです。今後の内容等詳細は、本学ホームページ「在学生の方へ」の「就職支援」に掲載します。

1	キャリアガイダンス 対象者 学部1年 開催日 4月8日㊟ 場 所 妙高青少年自然の家（合宿研修場所）
2	就職ガイダンス 対象者 学部3年、修士1年 開催月 6月初旬～11月初旬まで、8月を除き、毎月2回程度開催 場 所 A講義室
3	学内合同企業説明会 対象者 学部3年、修士1年 開催月 12月初旬と1月中旬にそれぞれ3日間開催 場 所 本学セコムホール 企業数 開催月それぞれ150社
4	就職活動に向けたメークアップセミナー（同窓会と共催） 対象者 学部3年、修士1年女性 開催月 11月下旬 場 所 講義棟
5	OB・OGトークセミナー（同窓会と共催） 対象者 全学生対象 開催月 12月中旬 場 所 講義棟
6	模擬面接セミナー 対象者 学部3年、修士1年 開催月 1月中旬 場 所 講義棟

てきたこと、などが主因と考えられます。

これらの産業構造の変化の将来を読み取ることが長期の自分の将来としての就職を考えるのに重要ですが、それは必ずしも簡単ではありませんし、必ずしも予測通りにならないのが世の常です。現在の社会・産業情勢をしっかりと読み取ることには努めることは前提ですが、さらに社会に出た後の長い年月の変化に柔軟に対応するためには、大学時代の今こそ、流行に踊らされる事無く、基礎学力を地道に充実させる努力を怠らないことがもっとも重要です。就職活動を睨みながらも、足下の基礎学力を充実することを強く期待致します。